

兵庫県美  
ボーダレス  
アートトーク

連続講演会シリーズ第 2 回  
〈美術 × 建築〉

# 曾野正之

(建築家)

テクノロジーだけでない、  
人間の為の、美しい  
《火星の氷の家》を求めて。

Mars Ice House イメージパース 2015 年 ©Clouds A0 / SEArch

現代社会において「美術」の創造性はどのような拡がりの可能性を秘めているのか — 兵庫県立美術館は、そのような視座から、「美術」にルーツを持ちながらも美術分野以外のジャンルにおいて創造的な活動を国際的に展開している兵庫ゆかりのクリエイターをお招きし、3回の連続講演会を開催しています。その第2回目は、建築家の曾野正之さん。現在、ニューヨークを拠点に、火星など宇宙空間での建築設計に取り組む曾野さんは、幼い頃から美術が大好きでした。これまでのプロジェクトの紹介のほか、現在の曾野さんを育んだ「美術」の創造性について、当館の蓑館長とともに語り合ってください。

**開催日時** 2019 年 1 月 13 日 (日) 14 時から (約 90 分) 入場は 30 分前から  
**開催場所** 兵庫県立美術館 ミュージアムホール  
**参加料** 無料 (要事前申し込み、先着 250 名まで)

**申込方法** 12 月 14 日 (金) 10:00 より兵庫県立美術館ホームページ内の「ボーダレスアートトーク」専用申し込みフォームから申込。受付完了後、確認メールを自動送信します。

\* 申し込み締切となった場合は、ホームページでその旨を告知します。

**主催** 兵庫県立美術館、兵庫県立美術館ギャラリー棟活性化実行委員会

**問合せ先** 兵庫県立美術館 営業・広報グループ TEL 078-262-0905

# 曾野正之

## プロフィール

1970年兵庫県西宮市生まれ。神戸大学及びワシントン大学にて建築修士号取得。ニューヨークを拠点に文化施設から宇宙建築に及ぶ多様なプロジェクトに携わる。2005年ニューヨーク市によるスタテン・アイランド 9.11メモリアル国際コンペ優勝作品によりアメリカ建築家協会公共建築賞受賞。2010年オスタッフ・ルダケヴィッチと CLOUDS Architecture Office 設立。2015年アメリカ航空宇宙局 (NASA) が主催する火星住居設計国際コンペにて優勝。ヴィトラ・デザインミュージアム、森美術館、ルイジアナ近代美術館等にて作品を展示。現在 ANA と JAXA による宇宙技術開発施設「AVATAR X LAB」を大分県に設計中。



©GION

## 各回ホスト／蓑豊



1941年金沢市生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、ハーバード大学大学院美術史学部博士課程修了、文学博士号取得。カナダ・モントリオール、米国・インディアナポリス、シカゴの各美術館にて東洋部長を歴任。1996年大阪市立美術館長、2004年金沢 21 世紀美術館初代館長に就任し、2005年より金沢市助役も兼務。2007年4月、金沢 21 世紀美術館特任館長、大阪市立美術館名誉館長となり、同年5月、オークションハウスのサザビーズ北米本社副会長に就任。2010年4月より兵庫県立美術館長。

## 兵庫県美 ボーダレス アートトーク

### 第3回講演

第3回 2019年3月2日(土)

〈美術 × 演劇〉

やなぎみわ



すべては個々に分散する。  
すべてはひとつに戻る。  
現代美術と野外劇という  
対極の表現。



講演申込受付開始日：2019年1月31日(木)

野外劇「日輪の翼」(2017)  
企画演出／やなぎみわ 原作／中上健次 ©bozzo